

2015年5月19日

NEC ネットエスアイ株式会社

**NEC ネットエスアイ 企業マルシェ(東北物産展)を実施  
～被災地を忘れない活動として10回目の開催～**



上: 第10回企業マルシェの様

下: (左から)PRステージとクイズ/地元生産者とTV会議で結んだバーチャルな産直/スタンプラリー景品お渡し所

NEC ネットエスアイ株式会社(本社: 東京都文京区 代表取締役執行役員社長: 和田雅夫 東証 1973、NESIC)は、2015年4月28日(火)、飯田橋ファーストタワー(本社ビル)1Fロビーにて、第10回企業マルシェ(東北物産展)を開催いたしました。

“企業マルシェ”とは、企業による農産品などの展示販売のこと(マルシェ: フランス語で「市場」)です。NESICは、東日本大震災の被災地支援の一環として、また、震災の記憶を風化させず、今なお復興途上にある被災地のことを思い起こすため、2012年3月より継続して本イベントを開催しており、今回は第10回目となりました。

本イベントは、当初は、社内フロアで社員のみを対象に開始し、第3回目(2012年2月実施)からはビルオーナーである住友不動産様のご協力により、地域住民の方々やビルテナント企業の方々も含めどなたでも入場できるよう本社ビル1Fロビーで開催しております。また、販売する商品も、地域の特産品に加え、個人農家の新鮮な野菜や、東京に販路を持たない被災地小規模生産者による小物やお菓子などへと広がってきております。最近では、被災地の手作り小物を作っておられる方々を岩手県陸前高田市にあるひまわりハウス(注1)にお招きし、テレビ会議システムを通じて、物産展来場者との間で、その商品に込めた思いなどを直接お話しいただき、被災地の様子を再認識していた

だききっかけとするとともに、自分たちの作った商品が笑顔で買われていく様子をご覧いただいております。このような活動を評価いただき、2015年3月には、「食べて応援しよう！」をキャッチフレーズに被災地復興を応援している農林水産省より、感謝状をいただきました。

第10回目となる今回は、『食べて・泊って・知って応援しよう！』をテーマとし、物産展をきっかけとして東北地方に一層の興味を持っていただき、観光活性化につながられるよう、岩手、宮城、福島の観光名所や特産品等のお国自慢に関する「PRステージとクイズ」を実施しました。また、商品販売を盛り上げるため、各県のゆるキャラのスタンプを集めて景品を貰える「スタンプラリー」を実施しました。なかなか目にする機会のない可愛いスタンプと、景品として用意したゆるキャラのグッズは来場者のみなさまに好評をいただきました。

また今回は、岩手県沿岸地域での起業家支援を行っている一般社団法人さんりく未来推進センターと連携して、岩手県宮古市と会場をTV会議システムで結んだバーチャルな形での産直を実施しました。地元生産者の方が自身の商品に込めた工夫や思いを直接語り、会場側からの質問にも答えるなど、生産者と来場者との相互コミュニケーションがモニタを通して行われました。会場側に用意した商品がその場で購入されると、宮古市の会場から拍手が起こるなど、賑やかなブースとなりました。

詳細は次のとおりです。

開催日： 2015年4月28日(火)  
場所： NECネットエスアイ 飯田橋本社ビル 1F ロビー  
(文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー)  
共催： 住友不動産株式会社  
後援： NECネットエスアイ労働組合  
協力： 岩手県東京事務所、いわて銀河プラザ、パレスチナ子どものキャンペーン、  
Aid TAKATA、若草リボン基金、さんりく未来推進センター、  
SAVE IWATE/浜焼き BAL Tregion、千代田区社会福祉協議会、  
宮城県東京事務所、宮城ふるさとプラザ、南三陸町、ADRA Japan、  
福島県東京事務所、ふくしまオルガン堂、いわきの12人、大和川酒造店、  
緑里、シャプラニール、いいたてカーネーションの会、文京区後楽町会  
開催内容： 岩手県、宮城県、福島県の地産品販売  
(青果、農林水産加工品、菓子、日本酒、手作り小物等)  
各県の観光案内(お国自慢PRステージとクイズ)、スタンプラリー など  
来場者： NECネットエスアイグループ、当社取引先企業、  
住友不動産(株)飯田橋ファーストタワービルテナント企業従業員、  
地域住民・勤務の方々など 約2,800名

NESICは、「できることから少しずつ」を合言葉に、国際協力、環境、災害支援、地域貢献などの社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。被災地支援活動においても、同合言葉のもと、企業マルシェに加え、岩手県陸前高田市のコワーキング・スペース「ひまわりハウス」の設置・運営や、被災地小学校における「南極くらぶ」(注2)の実施、新入社員による被災地研修(注3)などを行ってまいりました。また、NECグループの進める東北復興支援活動「NEC “TOMONI” プロジェクト」にも積極参加し、国内各地に勤務する社員がボランティア活動をおこなってまいりました。今回の活動を通じ、全社をあげて社会貢献活動を推進する土壌作りを進めてまいります。

以上

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズアイは、  
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として  
お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

NEC ネットズアイ CSRコミュニケーション部 環境・社会貢献グループ

電話: (03)6699-7004

E-Mail: [csr-sk@dm.nesic.com](mailto:csr-sk@dm.nesic.com)

<本件に関するメディア関係からのお問い合わせ先>

NEC ネットズアイ CSRコミュニケーション部コーポレートコミュニケーショングループ

電話: (03)6699-7007

E-Mail: [contact@dm.nesic.com](mailto:contact@dm.nesic.com)